

産業宣教 御座の超越を味わう産業宣教(創 41 : 38)	伝道学 御座の超越を味わう伝道(出 12 : 1-46)	核心要員訓練 Remnant Day 10 月学院福音化
<p>仕事、葛藤、試みには水準がある。戦い、葛藤せずに、神様の御前でメッセージを聞きなさい。ヨセフは、御座の超越を味わう産業宣教であった。</p> <p>□序論_創 3:15、ヨハ 19:30</p> <p>創 3:15 女の子孫が蛇の頭を踏み砕いたというのは権威を打ちこわしたこと △サタンは死なないので、それで終わったのではない。 △「権威を打ちこわした」とは、恐ろしい話で、イエスの御名で祈ることだ。 △イエスが「神の子どもとされる権威を与えた」「悪霊を追い出す権威も持たせるため」と言われた。 ヨハネ 19:30 イエス様が完了したと言われた。 △「キリストの中にはすべての知恵と知識の宝が隠されている」それを見つければならない。</p> <p>1. なぜただ福音なのか 2. なぜ巡礼者の祈りなのか(24 祈り-幸せ、感謝、神様の力を見つける) 3. なぜオリーブ山でただの集中なのか。これをみなさんが見つけ出さなければならぬ。</p> <p>△そうでなければ、3 超越を私の考え(自分)の限界で見えない。3 セットアップは神様のかたち・霊、私のたましいを生かそうということなのに、違うことは必要なく「ただ」ということだ。3 空前絶後が入っている。 △祈り-「ただキリスト、ただ主の聖霊が私に」 道を通ること、苦しみを受ける瞬間、答えを受ける瞬間も礼拝だ。この中で働き、職業(学業)が出てくるべきだ。それが祈りで礼拝だ(ロマ 12:1)。ここから出てくる産業で宣教することが産業宣教だ。</p> <p>□本論_ヨセフ</p> <p>1. 創 37:1-11 一人で祈りと礼拝を味わった 1) 傷になる状況 2) 良くない環境 3) ここで CVDIP が出来た(夢) 2. ポティファルの家で産業宣教という祈りと礼拝を味わった(創 39:1-6) △神様とともにいる巡礼者の祈りの中にあることが確認 1) 刻印 2) 根 3) 体質 3. 監獄で政治宣教(創 40:1-23) 1) 24 2) 25 3) 永遠という祝福を味わった。 4. 王宮でいやし宣教(創 41:1-38) -ヨセフのゆえにみな生かされるようになった。 1) ただ 2) 唯一性 3) 再創造 5. 総理となって世界宣教(創 45:1-5) - 24 幸せ、24 力、24 いやしを見つけないさい。 △家でも総理になっても、祈りと礼拝を味わうことは全く同じだった。 1) エジプト 2) 家系 3) 世界</p> <p>□結論_巡礼者の道を行くこと(ピリ 3:12) いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべてのことについて感謝しなさい(パウロの祈り、3 超越・3 セットアップ・3 空前絶後を味わう祈り) △教会は祝福の現場。誤っている人は長所で短所をいやしていくのだ。</p>	<p>御座の超越を味わう伝道が本当の伝道だ。</p> <p>□序論_伝道以前に先にフォーラムがなければならぬ。すべてが祈りで、礼拝だ。</p> <p>□本論</p> <p>1. 出エジプトの事件</p> <p>ヨケベデ(重要な人)、モーゼイテロと会う/深いフォーラムをしながらモーゼアロンがパロ王の前に立ったのだ。/神様みこころは変わらないから 10 の奇跡を起こされた。 ヨシュア-カレブ-ラハブ(この祈りのフォーラムがなければならぬ。)</p> <p>1) 出エジプト 2) 幕屋中心、雲の柱で 3) 荒野で奇跡 4) 三つの祭り(永遠のこと) 5) 契約の箱 △祈りと礼拝を分らないならば、私たちの考えでは、これ(四角)を選択できない。 2. 王政時代</p> <p>ハンナ、エッサイ-正しい契約を悟るようになったのだ。 サムエル-ダビデのような人物が出てくる。 エリヤ-エリシャ-オバデヤ(祈りと礼拝を実際に味わう)</p> <p>△このフォーラムが先になければならぬ。神様がみこころをどのように動かされて私がここにいるかだ。 1) ミツパ運動 2) カルメル山運動 3) ホレブ山運動(すべてのメッセージが与えられる) 4) ドタンの町運動 極限の状況で神様の契約を選択するなら、神様は働かれる。 3. 初代教会</p> <p>世界最大危機がイスラエルに中心に押し寄せた。そのとき預言されたカルバリの丘事件が起き、復活されたキリストがオリーブ山でメッセージ与えられた。 使 2:1-13 この契約を握ってマルコの屋上の間に/使 11:19-30 より大きい苦しみ、アンテオケ教会ができる 使 13:1-4 パウロを殺す特別チームが構成-パウロは世界宣教という歩みに移るようになる。</p> <p>△公礼拝(主日-神様の計画宣言):生きた礼拝(残りの日) △一致協力祈り(主日-心を集める祈り):生きた祈り(普段の祈り) →そのまま成就 1) マタ 28:16-20 あらゆる国の人々 2) マコ 16:15-20 万民 3) 使 1:8 地の果て</p> <p>□結論 神様は必ず世界福音化されるので、しかたなく許されたのが戦争、奴隷制度だ。生きたまことの礼拝と祈りを通して世界化することができる。 公礼拝(宣布)-このような人(本論)が集まった場合、御座、神様のことが宣布される時間 生きた礼拝(24)-「24」する祈り 二つをみな一つに集中すべき-ただ主!ただキリスト!</p> <p>これが世界を変える。私たちは時代生かす伝道者で、巡礼者だ。これを握らなければならぬ。</p>	<p>来年のことをあらかじめ話す。</p> <p>□序論_Remnant と伝道者は「巡礼者の道」を行く。</p> <p>1. 奴隷から解放された Remnant、戦争の時期にサムエルとダビデ、偶像時代にエリヤとエリシャ、捕虜時代にダニエルチーム、属国時代にパウロと Remnant、流浪民族になったイスラエルが巡礼者の道を行った 2. 5 世紀、中世時代、虐殺時代-巡礼者が本格的に動き始めた-呼吸祈り 3. ただ一つだけ祈り [吸う息]キリストとその霊によって満たしてください。 [吐く息]目に見えるすべてにその力が行くように 4. 24. 祈りで幸せ、難しい状況に勝つほど感謝、力。ただ(主・キリスト・聖霊の満たし)祈り 5. 素晴らしい霊の世界へ出てくる→みことばの流れ、祈りの流れ、伝道の流れが見える。 6. 状況、条件、苦しみが全く感じられないほどが祈りと礼拝を知ること</p> <p>[1 課] イザヤ-捕虜生活をあらかじめ見て預言 1. イザ 6:13 2. イザ 7:14 3. イザ 40:27-31 みことばの力 4. イザ 60:1-22 本格的に Remnant が起きる。 5. イザ 62:6-12 「あなたは見張り人だ」 [2 課] ダニエル-心を定める(イザヤの話を理解した人がバビロンをひっくり返した) 1. ダニ 1:8 心を定めた。理由を分かったのだ。 2. ダニエルは「24」、生活の中でずっと祈った証拠 ダニ 6:10 「いつものように」 ダニ 6:20 「あなたがいつも仕えているあなたの神が」 ダニ 6:22 「昨夜、主の使いが」 3. ダニ 10:10-20 重要なことを置いて 20 日集中祈り→すべての世界をダニエルにみな知らせてくださる。 [3 課] 三人の同僚-24 祈りが通じる 2~3 人の一致協力祈り 1. 政治をする人は考えが変わらない。 2. その人が作った偶像を打ち破った 3. 燃える火の炉に三人を投げ入れたが四人が歩き回っていた。 [4 課] エステル-答えの前に答え 1. エス 2:10 「ユダヤ人であることを言うてはならない」 2. エス 4:1-16 「今、行って話しなさい」 3. プリムの日-その言葉が作品として残ることになる。 [5 厦] ネヘミヤ-現場で味わった者 1. 本日に成功-ネヘミヤを見て「神様を信じる人だ」と見た人が多い。 2. 城壁(神殿)再建-そのとき、ネヘミヤが言ったことばだ 3. 再建-イスラエルが勝利する。 △現場でこの奥義を持っていれば人々が知るようになる。 △共通点-ダニエル、三人の青年、エステルを見た王たちが、彼らにこれ(序論)があることを分かった。 本当に回復した力によって勉強、未来、すべてに行く。</p>

聖日 1 部礼拝 誤った礼拝と真の礼拝 (I サム 18:1-9)	Remnant 礼拝 レムナントとヨルダン運動 (ヨシ 3:1-13)	聖日 2 部礼拝/神殿建築献身礼拝 ダビデの神殿準備 (I 歴 29:10-14)
<p>死の危機に 5 回以上会ったダビデが十分に勝って多くの答えを受けた理由は、祈りと礼拝が何か分かったためだ。残りの者の祈りが先にあった。</p> <p>□序論_残りの者の祈り</p> <p>1. 神様の計画を見る祈りをしたダビデ 残りの者は神様の計画を見る。これが残りの者の祈りの始まりだ。 △誤った礼拝 (I サム 18:7) -ダビデは万、サウルは千。この話を聞いて腹が立ったサウル王のように、教会の働きをしながら、そのために腹が立ってすねるが、これは間違った礼拝だ。</p> <p>△真の礼拝 (ロマ 12:1) -あなたたがたのからだを、これは生活だ。神様が喜ばれるいけにえとしてささげなさい。これは、あなたがたがささげる霊的礼拝だ。これが本当の礼拝だ。</p> <p>2. 神様に向けた祈りをしたダビデ 羊飼だったとき、サムエルに会ったとき、主の霊が激しく下った。これが残りの者の祈りだ。</p> <p>3. 神様に向けた栄光と感謝をささげたダビデ</p> <p>□本論_巡礼者の祈り。巡礼者の祈りは 24 だ。すべての目、耳、鼻、口、息をすることを祈りで</p> <p>1. ダビデの巡礼者の祈り -ただ神様の力だけを見あげる △3Setting -神のかたち (創 1:27)、私のたましい (創 2:7)、神様の生命力 (ヘブ 4:12) 生かされる 1) 詩 5:3 (朝) 2) 詩 17:3 (夜) 3) 詩 18:1 (昼) 4) 詩 23:1 (すべての時間の中で)</p> <p>2. ダビデの巡礼者の旅程 -すべての問題、すべての現場、すべての事件が礼拝であり祈り △3 超越の答え -御座の力 (詩 103:20-22)、時空超越の働き、237 生かす光準備 1) サウルの槍を避けたダビデ 2) 刺客による死の危機にあったダビデ 3) エン・ゲディのほら穴に隠れたダビデ 4) ハキラの山に逃げたダビデ 5) ペリシテに逃げて狂ったふりをしたダビデ ダビデのすべてが祈りで、礼拝であった。</p> <p>3. ダビデの巡礼者の目標 -未来を置いて神様を礼拝して賛美 △3 空前絶後が出てくる -私自身、教会、職業 1) ダビデ個人にすべてが祝福 2) 一度も勝つことができなかったペリシテに完ぺきに勝つ答え 3) 初めて神殿準備、空前絶後の答えを受けた</p> <p>□結論_暗やみをひざまずかせる神様に栄光をささげる祈り</p> <p>1. 逃げ回りながらも祈りと礼拝と賛美をしたダビデにサタンはひざまずく (詩篇)</p> <p>2. サタンをひざまずかせるために、神様に栄光をささげるためにサウルを殺さなかったダビデ</p> <p>3. 神様、サタン、ダビデに反対する人々がこのダビデを分るほど揺れなかった。</p>	<p>なぜヨルダン運動と言うのか。今、私たちが昔のヨルダンを渡る必要がないためだ。</p> <p>□序論_水準、基準、標準が重要だ。(次世代のために記念碑をたてなければならぬ)</p> <p>△Remnant は大人たちを尊重しなければならないが、受け入れてはやく越えなければならない。大人たちは自分たちの水準で Remnant を見てはいけぬ。多民族は、自国の基準、水準、標準を上げて世界福音化しなければならないと考えるべき。</p> <p>1. エジプトを超える力を Remnant は蓄えるべき。次世代のために。みなさんのために</p> <p>2. Remnant は荒野を超える力がある。</p> <p>3. 征服の力を得る重要な意味を置いていることがヨルダンだ。</p> <p>□本論_どうすればできるのか</p> <p>1. ヨシ 3:1-6 Remnant は「契約」について行きなさい △ただを悟って、ただを握るときに出てくること (残りの者の祈り) →神様の計画を見て、神様と方向を合わせて、感謝してついて行くようになる 1) 創 3:15 女の子孫、創 6:14 箱舟、出 3:18 羊の血 2) イザ 7:14 インマヌエルの祝福 3) マタ 16:16、使 1:1, 3, 8 これについて行けば学業をしても、何をしても、ただが見える</p> <p>2. ヨシ 3:7 「祈りの流れ」について行きなさい △唯一性の答えがくる。(巡礼者の祈り)が始まる → 3 超越、無限、3 空前絶後の答えがくる 1) 一つ祈り、すなわち With, Immanuel, Oneness の祈りを 24 しなさい 2) 一つで幸せ 3) この一つで力を持つようになる 見えること、考えること、聞こえること、話すこと、息をすること、みな祈りにつなげなさい。吸い込むとき聖霊の満たし、吐くとき神様が働くように祈り (巡礼者の祈り)</p> <p>3. ヨシ 3:17 みことばが「現場の流れ」を乗るように △再創造。神様のみことばが現場に成就 (征服者の祈り) →暗やみ縛られる 答えがくる 1) 契約の箱をかついだ 2) 祭司の足が 3) すべての民がみな渡る時まで留まるようにしなさい</p> <p>□結論 △出 17:14 この本にあるのは全部記念、記録、覚えるようにしなさい 出 33:11 ヨシュアは会見の天幕を離れなかった 民 17:30 ヨシュアとカレブだけがカナンに入る 1. 時代の作品を準備しなさい 2. 7 大旅程の作品を準備しなさい 3. OURS を作りなさい △Remnant は未信者のようにどのようにしなければならぬかと質問する必要はない。残りの者の祈り、巡礼者の祈り、征服者の祈りを 24 しなさい。すると必ず答えがくる。</p>	<p>サウル王がダビデを殺そうとしたとき、他の人はダビデが終わったと思ったが、なぜか。 △残りの者の祈り (神様のみことばを見た人) →巡礼者の祈り (24-3 超越の祝福) →征服者の祈り (サタンがひざまずくように) △この祈りをしたダビデ - 「神殿準備」</p> <p>□序論 1 列 8:16 契約の箱を置いたの宮をダビデにだけ許す 詩 122:5 さばきの座をダビデに家に置く 詩 89:35 ダビデに誓われたこと、必ず偽りなく成り立つ 1. とこしえからとこしえまで賛美を受ける主 2. すべてはみな主のもの。 3. 恵み-主がくださったことを受けてささげただけだ (ダビデの信仰告白-献堂を先にした)</p> <p>□本論_生涯準備 (戦争) -神殿建築はみな奪われるか、みな回復するかの戦争だ。</p> <p>1. 神殿と根本戦争を知っていたダビデ (詩 78:70-72) △神様は幼いときにすでにダビデを準備された 1) I サム 16:1-13 主の霊が激しく下った 2) I サム 16:21 サウル王がダビデを大きく愛する 3) I サム 16:23 ダビデが賛美するとき、悪い霊が離れた</p> <p>2. 神殿と霊的戦争を知っていたダビデ (I サム 3:1-3) △神殿-偶像か、神様かという霊的戦争 (契約の箱の歴史を分るサムエルがダビデに伝達) 1) 出エジプトで起きた幕屋、会見の天幕、天幕の話聞く 2) ペリシテが契約の箱を奪って大きい事故が起きた後、送り出したことを伝え聞く 3) II サム 6:1-12 一番最初にダビデの町を作って契約の箱を持ってきて踊る</p> <p>3. 神殿と次世代のための戦争を知っていたダビデ (ソロモンがこの祝福を味わうことができるように) 1) I 歴 29:3 神殿を思い慕う心 2) II サム 7:2 主の箱は風が吹くところにありゆっくり寝ることができない 3) I 歴 29:10 全集団を集めて主に感謝をささげる</p> <p>□結論_「主がダビデのゆえに」 -神様はなぜこのようにダビデを応援されたのだろうか 1. 霊的戦争をしたので 2. 偶像と戦う Mason 戦争をしたので 3. 次世代生かす戦争をしたので △この祝福がソロモンにも渡る。神様はソロモンに大きい知恵を与えられ、失敗したときも、ダビデを考えて機会を与えられた。私たちは神殿を準備しながら残りの者の祈り、巡礼者の祈り、征服者の祈りを回復しなければならない。 正しい礼拝、伝道、宣教を回復しなければならない。</p>